

第21回 日本健康体力栄養学会大会

大会抄録集

テーマ：癒しを通しての健康



会期：2014年3月1日（土）

会場：高知城ホール（高知県教育会館）

（〒780-0850 高知市丸ノ内2丁目1番10号）

会頭：田村 隆教（高知学園短期大学 教授）

主催：日本健康体力栄養学会

14. 高齢者側弯症改善症例報告

大塚乙衛 大塚整体治療院

【目的】

近年、高齢者の側弯症が増加しており、骨粗しょう症を併発している方も多数います。また側弯症は医学的に、外科的にも内科的にも治療法がありません。これまでの発表で、大塚式側弯症改善療法は、乳幼児、学童期側弯症の改善に効果的であることを報告してきましたが、年齢を問わず姿勢を改善することで高齢者側弯症に対しても効果があると考え、大塚式改善療法を試みました。

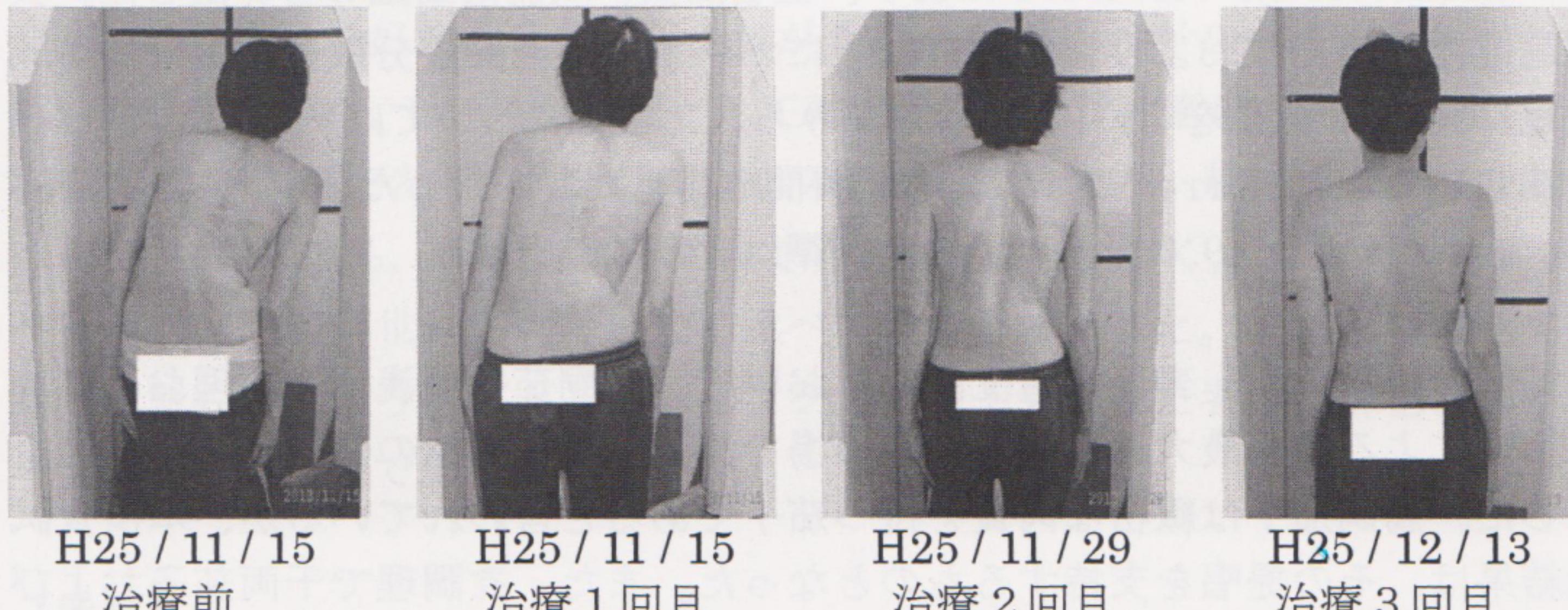
【方法】

1. 側弯症矯正具RHPⅠ木型（実用新案）を使用し、湾曲のカーブに合わせて横臥位・仰臥位する。
2. 側弯エクササイズ（3種類）を行い、自宅でも1日3回を毎日実施する。

【結果】

治療実施前、57歳の女性で平成25年11月14日にY大学病院で50度湾曲、「手術」と診断される。しかし、骨粗しょう症の為に手術は出来ないと言われ、骨密度を増加させる注射を自分で打つ毎日でした。姿勢の悪さにより内臓が圧迫され、「逆流性食道炎」を併発し薬を服用していた。

治療実施後、平成25年12月26日にY大学病院で再検診。湾曲50度が42度に改善され「手術不要」と診断される。姿勢も改善した為、内臓圧迫が無くなり「逆流性食道炎」も完治した。



【考察】

大塚式側弯症改善療法は乳幼児や学童期に限らず、高齢者側弯症に対しても効果的であった。側弯症は肋骨の変形を整復することで体幹が伸展し姿勢が改善する。さらに自宅体操を努力することで、年齢を問わず側弯症は改善することができ、大塚式側弯症改善療法は有効であると考えられる。